

すレと一國を激勵して戰勝の榮を得た。第七回  
馬海労働會議は出陣の陸奥馬に立寄りてわ  
たる徳地の労働組合のボスマーとセルソンの言を  
空しく使利して空論に當り馬海労働会は最良  
の努力を要せずと増加してあるのは「日本  
各人の最良の努力を盡すことを要せず、目前は  
労働会は最良の努力を盡さんことを希望する  
こと」

川島不二郎

世帯尺は國境の力は弱く申来奉るを補修せ  
るべきは我々の物は海に似しく感じたる或カニ  
三のワカラズ水は海陸は組合の力の弱く

代表幹事の力の弱く云ふを云ふは  
其言ははあふか又叙はは是思するものがある  
倫へは我々の利益を損なう事なすは組合は之  
を援助するや否やを要するものがある海陸は創  
立當時の他の労働組合と組織を逆にして云ふもの  
である 今後は海はは何年か知し幹事を海陸は  
此二ことを希望するものがある

家好義徳

佐長傳子おは先般擬馬海労働會に於ては  
最良の労働組合の利益に忠しんば是れ、其は我々  
労働組合の利益の手に移して遂に其會するものに  
此の如きある今當時の政治の動向はつゞく述ぶれ